

PTAって何？

どのようにできたのですか

大分県PTA連合会は、昭和23年に結成し、平成30年には創立70周年を迎えました。では、そもそもPTAは、どのようにできたのでしょうか？日本PTA全国協議会発行『はじめましてPTA』には、次のように書いてあります。

PTAは、昭和20年に当時の文部省が発表した「新日本建設の教育方針」から歴史が始まります。その後、アメリカから派遣された教育の専門家による、戦後の日本の教育に関する基本的な方向性を示す、米国教育使節団報告書によってPTAの設立と普及を推奨する方針が掲げられ、文部省を通じて、全国的にPTAの指導、支援を行ったことから広まりました。

当時の文部省が作成したPTA結成手引書の中には、PTAの趣旨として、「子どもたちが正しく健やかに育っていくには、家庭と学校と社会とが、その教育の責任を分けあい、力を合わせて子どもたちの幸せのために努力していくことが大切である」と謳われています。

家庭教育の充実を図り、学校・地域と連携して子どもたちのために活動する団体として全国に広まりました。こうして始まったPTAはさらに、社会の宝である子どもたちのために、地域ごとや都道府県単位の協議会が組織されるようになり、全国組織の必要性から日本PTAがつけられました。

はじめませんか

PTA 行事に参加することで学校に行く機会が増え、お子さんの様子も学校の様子もよくわかるようになります。クラスのこと、学年のこと、先生のことなどについて理解が深まり、お子さんが話す学校での様子がよくわかるようになり安心感が高まります。

また、同じ年代の子どもをもつ保護者と話す機会が増え、子育ての悩みや喜びを話すこともできます。同じ学校や地域に子育ての友だちが増えることは、子育てにとって、とても心強いことです。PTAはみんなを繋ぐ場でもあります。

もちろん、加入については任意です。是非参加してみましょう。子どもたちのために、自分のできることから始めませんか。



このリーフレットは、はじめてPTAに出会う方に「PTAってなに？」の答えやヒントを紹介しています。



PTAは『社会教育関係団体』です

「社会教育」って聞き慣れない言葉かと思いますが、社会において行われる教育のことを言います。学校で行われるのが「学校教育」、家庭で行われるのが「家庭教育」それと並んで、大切な教育が「社会教育」です。

子どもたちは家庭・学校・地域を行ったり、来たりしながら、生活し学び、成長します。家庭のしつけが学校での学習に生き、学校で学んだ友人関係が地域に繋がります。子どもの成長は時と場所を選ばず継続していきます。

また、PTAは成人教育の場でもあります。より良い保護者・先生であるためには、自ら学びや研修に励む必要があります。より良い大人であることが、子どもたちの健全育成のためには大切なことです。PTAの幅広い活動を通して、私たちも共に学び、成長していけるそんな組織がPTAです。

(出典元：日本PTA全国協議会発行『はじめましてPTA』)

どんなことをするの

PTAの活動は、それぞれの学校によって色々あります。それぞれの学校や地域の歴史や特色がそれぞれのPTAに大きく影響しています。

活動の例としては、朝の通学指導・あいさつ運動、リサイクル活動、環境整備、運動会のサポート、バザー、ベルマーク集め等の活動をしているPTAが多いようです。

どのPTA活動も多くの保護者の方々に参加してもらいたいのですが、核家族化が進み、共働き家庭が増え、ひとり親家庭など多様な家庭のあり方の変化に伴いPTA活動も多様化しています。また、過度な負担とならないように工夫されています。

さらに、PTA 活動には様々な研修会や講演会など学びの機会もたくさんあります。自分自身が大人として成長することができますし、また、子育てや家庭学習などをはじめ子どもの教育環境の改善などのヒントを得ることもできます。

PTA活動は、新たな出会いや気づきが得られる素晴らしい機会となります。



協力し合っ

これまでもPTAは、子どもたちが安全に安心した生活を送れるように、地域の方々といっしょに、通学路の点検や危険箇所の見守り等積極的に行っています。

また、PTAは保護者と先生が子どもたちを取り巻く環境をより良いものにするために、学び合う場となっています。

子どもたちの健やかな成長を願い活動する「大人たちの背中」は、子どもたちにきっと大きな安心感を与えることでしょう。

みんなで協力していきましょう。



日本PTA全国協議会発行の『はじめましてPTA』を参考に作成しています



つながって笑顔の花を咲かせましょう

保護者 由布市 鄭 加代

なんとなくやらなきゃ！で始めたPTA活動。他学年の保護者、ベテラン保護者や新米保護者との出会いには、たくさんの子育てのヒントがあり、笑いあり涙あり、語り合いあり、励まし合いあり。この方たちがいたからこそ様々な事件!?があっても楽しい子育てができました。そして先生方とも交流を持ちよく知ることで、学校を、先生方を応援する気持ちがとても大きくなりました。

まずは難しく考えず、出来る工夫をして参加してみましよう。きっとプラスになることばかりですよ。子どもたちの笑顔のために！そしてみんなが笑顔になる！



最高の大人塾です

保護者 大分市 赤峯 慎太郎

男子4人の保護者としてのPTA活動16年間を終えました。子どもにも、親がPTAにかかわって学校に来るのを喜ぶ子・いやがる子とありました。

本音はずっと後にならないと聞けないのですが、子どもたちは見るべきところをしっかり見てくれています(見てほしくないところもしっかり)。大人になって学校の思い出をふり返る時に話題が共有できるってとても素敵なことです。保護者(大人)としての自身がこの期間に遂げた成長は、子どもたちのそれ以上だったかもしれません。期間限定、本当にその時しかできないことってそう多くはないですよ。

どうぞ一歩足を踏み入れて存分に楽しんでみませんか？

きっと自分が磨かれます！



あなたの力を必要としています

大分県教育庁大分教育事務所長 山香 昭

私が校長をしていた時です。保護者の方と校内を巡回していたら、授業に行かない数人の生徒と出くわしました。私が指導する前に、「校長先生。この子はよく挨拶するのですよ」「〇〇君は昔から年下に優しくったよね」と保護者の方が。すると生徒達は「おばちゃん。今から授業にいくけん」「後で見に来てね」と、笑顔で走って教室に向かいました。PTA活動をとおして培われた、つながりの素晴らしさを感じました。

今こそ、教師と保護者、保護者どうしの連携が大切な時ではないでしょうか。あなたの力を必要としている子ども達が待っています。

PTAのすゝめ

- 一、大人が示そう あいさつの手本
- 二、子どもと遊び ふれあい 伝える愛情
- 三、学校とともに深める 信頼の絆
- 四、地域と見守り はぐくむ郷育（まちぶくむ）
- 五、みんなでつどい できる事を できる時に
- 六、PTA活動を通して 楽しもう 子育て

大分県PTA連合会

大分県PTA連合会では、

「大人が・子どもと・学校と・地域と・みんなで・楽しもう子育て」の6つのキーワードに思いを込めて、「PTAのすゝめ」(令和3年度改め)を推進しています。



発刊にあたって

大分県PTA連合会 会長 山田 弘樹

PTAは、学校(教育)と家庭(教育)を繋ぐ役目を持ち、子どもたちの健全育成を大きな目的とし、その為に大人たちが自ら学ぶ場としての役割を担っています。

自らの子どもが通う学校で、同世代の子をもつ大人同士が出会い交流し活動出来る場があるということは、チャンスという贈り物です。その稀有なプレゼントを生かし、一緒に子どもたちの健やかな成長を見守る活動に参加し、学び合ひましょう。

私自身、PTA活動を通して様々な方々との出会い、多くの方々とかけがえのない人間関係を結ぶことができました。そしてこれからも発展していくと考えています。

このリーフレットがPTAのヒントになるように、そしてなにより子どもたちの未来に繋がります様、願っています。

大分県PTA連合会

大分市大字下郡496-38

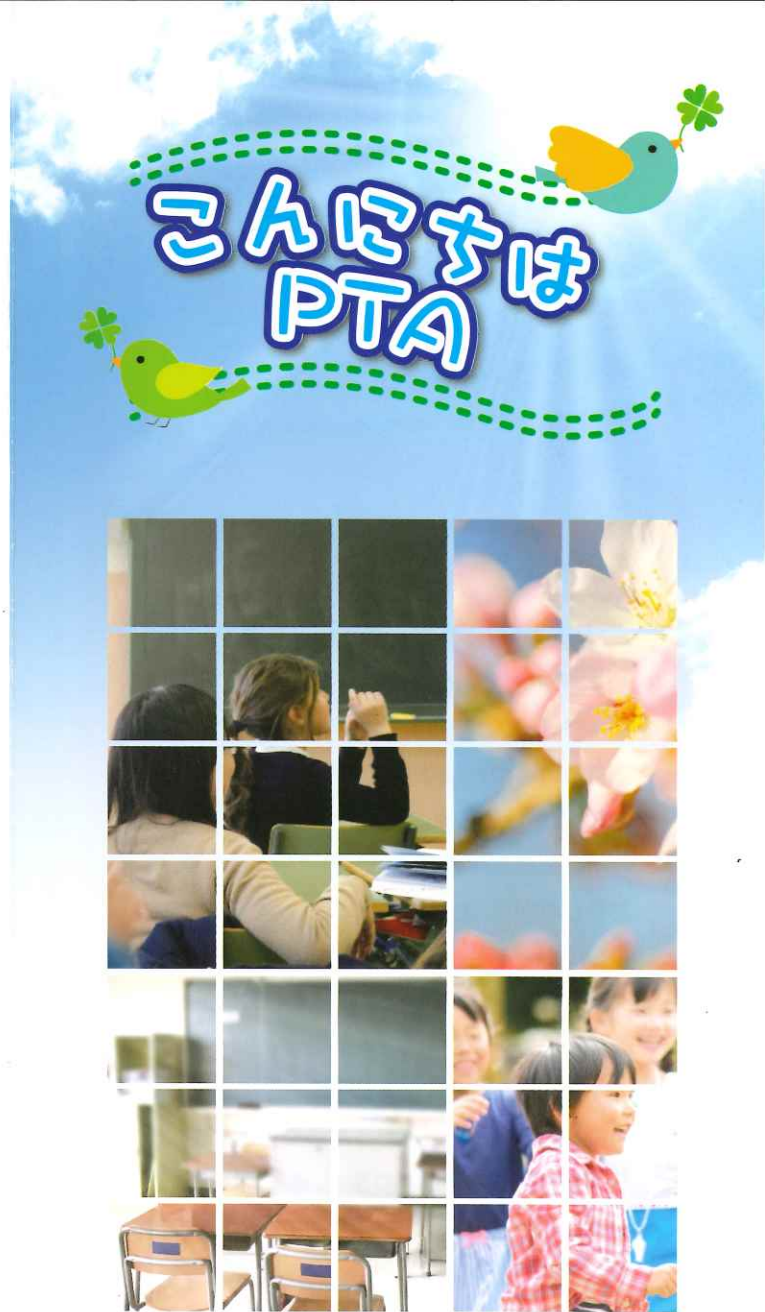
大分県教育会館2階

TEL 097-556-9055

<http://oita-pta.com/>



令和4年 1月発行



大分県PTA連合会